

東由利町報

12/1

No. 309 昭和55年12月1日発行 昭和42年7月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行

昭和55年 No. 309



農産加工展（農協祭）

老人作品展（生活文化祭）

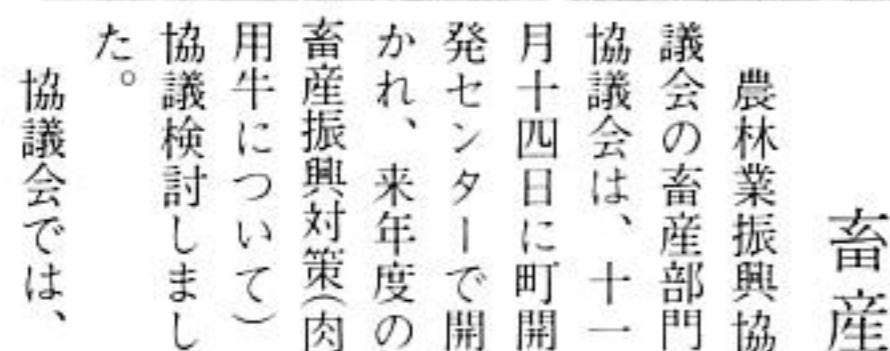
「文化祭・農協祭は同じ日に」という声を受け、十一月一日から三日間、生活文化祭は開発センター、公民館、朋楽荘で、農協祭はライスセンター、低温倉庫で、それぞれ開かれました。

期間中は、時おりみぞれまいの雨が降るなど悪天候に見舞されました。期間を同じにしたこともあって会場には延べ約三千五百人の観覧者が訪れ、にぎわいを見せました。生活文化祭は、衣服・手芸品や写真、わら工品、陶芸品、発明工夫品など町民の力作千四百点が展示されたほか、焼き、マンガ映画上映、青年会や各分館、詩吟同好会などによるステージ発表も行われ、好評を博しました。一方、農協祭は、農産物等の展示のほか、野菜の即売、東由利牛の牛肉安売り、婦人部による演芸発表などが行われ、なかなかの盛況でした。

- 町の生活目標
1. 町の心は明るいあいさつ
 2. きれいな町で健康なくらし
 3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
 4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

生活文化祭・農協祭

冷害克服・出来秋祝う



導入資金に上積み

畜産部門協議会で検討

農林業振興協議会の畜産部門協議会は、十一月十四日に町開発センターで開かれ、来年度の畜産振興対策(肉用牛について)協議検討しました。

協議会では、

まず町長が、▽公社導入牛の資金上積みと利子補給 ▽県の保留対策事業の期間を町單で一年延長 ▽町単独の保留対策 ▽サイロ新設に助成など、基本的な考え方について説明しました。

これに対して委員からは、△家畜診療対策 △家畜人工授精対策、優性研究準備会と原種基礎牛の認定・保留▽放

牧場の運営・利用形態——と導入・保留対策については、「現行制度の貸付単価と農家の自己資金、町財政等を考慮して上積み額、利子補給を検討すべきだ」といった意見が出されました。

町では今後、これらの意見をもとに、さらに数字を整理検討して来年度予算の編成に取り組み、肉用牛飼養増頭割合は全県一と言われている本町畜産の振興を図つてきたいとしています。

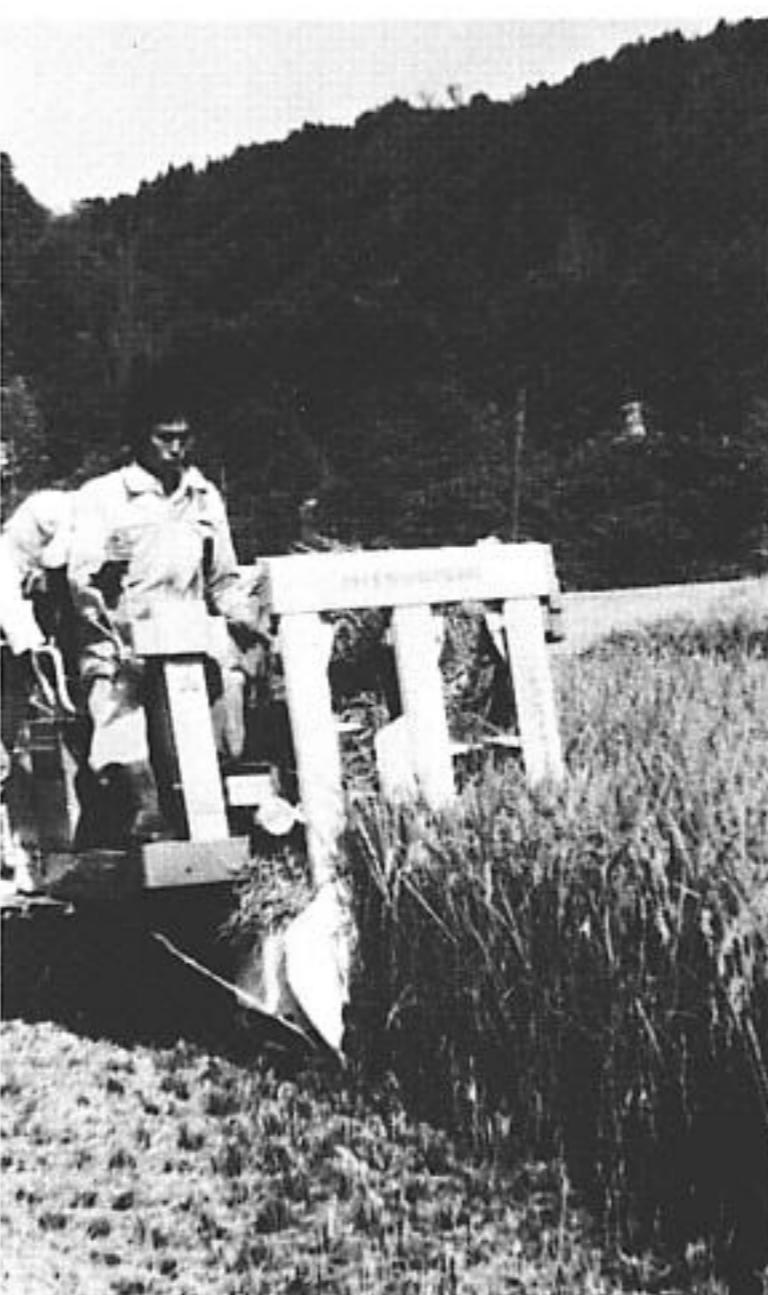
町税の減免

△家畜の減免については、共済補てん後の減収率が三〇%以上との農家に対して町民税と

やや不良の作柄

昭和55年産米

9月下旬から10月 好天で登熟進む



町産業経済課が十一月十九日現在で取りまとめたところによると、今年本町に割り当たった七万六千八百九十六俵の限度数量に対し、三千七十七俵減の七万三千八百十九俵が売り渡しできる見込みとなっています。

一方、出荷状況を見てみると、十一月二十一日現在の検査終了米は、六万八千四十二俵で、等級別には一等米が五万三千六百四十六俵、二等米

俵が売り渡しできる見込みとなっています。

天災資金

千三百五百万円

十一月十日、天災融資法と

冷害対策

激甚災害法の政令が公布され、県では同月二十日、本町を含む三十八市町村の九十七地域を特別被害地域に指定しました。

これは、明年度に予定していたものを、被災農家救済のため一年繰り上げて実施するもので、本来は低利の融資しか受けられないものが、救農事業ということから事業費に対する四〇%の補助金が交付される見込みです。

町有林一四・八ヘクタールの枝打ち・保育間伐

町では今冬、救農対策事業として町有林一四・八ヘクタールの枝打ち、保育間伐をすることにしました。

これらの数字と保有米を勘案し今年の町作況指数を試算してみると、九六のやや不良となり、九月十七日の冷害現地調査結果をもとにした予想収穫量を大きく上回る作柄という結果になりました。

これは、九月下旬から十月にかけての好天で、予想以上に登熟が進んだものと見られています。

この結果、町作況指数が一万三千六百五十七俵、三等米が七百三十九俵となっています。

戦後最大の冷害とも言われ、実り少ない暗い秋になるのではと心配された今年の稻作も早や収穫期が過ぎ、結果的には町全体として作況指数九六のやや不良の作柄になる見込みとなりました。

こうした中で十一月十日、天災融資法と激甚災害法の政令が公布され、町では現在、十二月下旬に資金貸付実行ができるよう、被害認定などの事務を進めています。

以下、今年産米の作柄状況と現在すすめている冷害対策の概要等についてお知らせします。

水稻共済金は 十一月中旬支払い

水稻災害共済金は、検見による全筆調査、共済組合の抜取調査、県共済組合連合会の実測調査によつて損害額が計算され、現在国の認定(十二月五日内示)を待つていてところです。これが認められれば、本町では二百八十九戸に五千百万円程度が十二月中旬に支払われる予定になつています。

国民健康保険税を減免する方が、農業災害補償法の規定により減収量の八〇%が補てんされることになつたために、実際に減免の対象になる農家はいませんでした。



時にはご叱
を頂き、今
の東由利町
発展のため
ご尽力くだ
いましたこ
に心からお
申し上げる
だいです：

民生委員と担当区域

自治会	委 員	担 当 区 域
向 田	横 山 廣 一	泡の瀬、向田、智者鶴
黒 渕	佐 藤 テ ル	葎沢、黒渕、地下の沢
田 代	長 谷 山 長 一	石高、田代
袖 山	畠 山 清	須郷、大吹川、袖山
下 小 屋	小 野 忠	時雨山、下小屋、高戸屋
須郷田	小 松 長 毅	須郷田、館合新田、新沢
下 小 路	畠 山 裕 子	宇戸坂、館西
家の下	小 番 順	家の下、下小路、八日町
板 戸	大 塚 卜 シ	五海保、久保、板戸
山 崎	工 藤 武 雄	山崎、松柴
祝 沢	佐 藤 守	祝沢、茂沢
湯出野	加 藤 清	寺田、湯出野
中 通	小 松 豊 子	上通、中通、下通
新 町	小 松 運次郎	新町、横小路、上里
宮の前	小 松 サダミ	島、宮の前
蔵新田	太 田 千代三	蔵新田
蔵	阿 部 雪 子	蔵
横 渡	高 橋 ヒデ子	横渡、岩館
新 処	遠 藤 真 吉	野田、新処、十二の前
小 倉	遠 藤 荘二郎	桂台、小倉、中の沢、高村
黒 沢	小 松 善次郎	黒沢、大台
大 琴	大 日 向 イ サ	大琴
下 吹	畠 山 寅 松	宿、下吹
土場沢	畠 山 藤 作	土場沢、高屋、沼
舟 木	大 庭 キ ョ	舟木、畠村、杉森、奥ヶ沢

(順不同，敬稱略)

三氏に町功労者章

七十余人が出席して表彰式

今年の町功労者表彰式は十一月五日、前表彰者、町自治功労者、議會議員、各団体長など七十人余りが出席し、町開発センターで行われました。

表彰された方は、長沢毅氏（中通）、小松真一氏（黒沢）畠山マサエ氏（島）の三氏（既

式は午前十一時三十分から始まり、被表彰者ひとりひとりに功績をたたえる表彰状と町功劳者章が町長から贈られました。

このあと町長が「：本日表彰を受けられた三人の方々の

と式辞を述べ、つづいて小野議会議長からお祝いのことばが寄せられました。

また、この表彰式といつしよに町自治功劳者礼遇規程による自治功劳章の贈呈式も行われ、本年七月まで議会議員

○藤原虎之助氏（上通、昭和43年7月～昭和55年7月）
○長谷山直助氏（地下の沢、昭和47年7月～昭和55年7月）

長に工藤武雄氏（山崎、六十五歳）、同職務代理者には遠藤莊二郎氏（小倉、六十四歳）がそれぞれ再選されました。任期は四カ年です。

前議員四氏に
自治功勞章

(北澤義氏・中達 暉和3年
○梅津二三雄氏(大琴、昭和
7月)昭和55年7月)

改選後初の町選挙管理委員会は十一月七日開かれ、委員

を述べ、式はどこおりなりました。

として活躍してこられた次の四氏に自治功劳章が贈られま

選管委員長

石高農道



昭和四十八年に工事着工された石高農道が、先ごろ全線舗装完了となりました。

同線は、石高地内を起点に、大橋場（黒渕）、泡の渕を通じて智者鶴に至る延長四、〇〇メートルで、過疎地域の振興を図る目的で去る昭和四十五年に十年間の时限立法として制定された「過疎地域対策緊急

特別措置法」に該当する事業として、県が町に代つて工事を進めてきたものです。

昭和五十三年、災害力所を除く全線が全幅五メートルに改良済となり、翌五十四年からただちに車道幅員四メートルの舗装工事に着手され、今日の完成となりました。

事業費は、改良・舗装合せ

で二億五千六百八十八万円で、全額国と県の負担です。

高瀬川をはさんで県道羽

後向田館合線と並行しては

する同線は、本来の農道と

してのメリットだけでなく

災害等による県道通行不能となつた場合のう回路、また近隣集落を結ぶ生活関連道路として期待されていただけに、着工から八年目ににして舗装完成は、沿線住民の大きな喜びとなっています。



全線が舗装完了

土場沢林道

下吹地内を起点に、土場沢、高屋を通つて須郷地内に至る延長四、六七四・五メートルの土場沢林道舗装工事が、降雪を前にこのほど全線完了しました。

同路線は、昭和四十五年に村道から林道に編入され、翌年から四カ年にわたつて約一億円を投じ、過疎地域工事を進め、全額国と県の負担で幅員四メートルに改良しました。

その後、沿線集落の間に舗装に対する熱意が高まり、町でも関係機関に対して早期舗装を要請した結果、昭和五十二度に県代行事業として工事着工され、以来四カ年にわたり、七千八百七十万円が投じられ、今日の完成に至つたのです。

本町のように全面積の約八割が山林原野で、しかも集落



が広範囲にわたつて散在している町村の林道は、林産物の搬出道路としてばかりでなく、沿線集落の生活道路としても大きな役割を果しているのが現実です。

関係地域住民の熱意と協力をよつて立派に完成した同林道は、沿線住民から辺地といつたイメージをしてさせ、かけがえのない生活道路、産業道路として、今後地域の発展に大きく貢献していくものと期待されています。



研修レポート



西ドイツ婦人連盟会長のフラボークさん(左)宅を訪問した梅津さん

西ドイツ婦人連盟会長のフラボークさん(左)宅を訪問した梅津さん

九月一日号で紹介しましたとおり、十月一日から二週間、ヨーロッパ五カ国で実施された県海外研修事業に、本町の二人も参加しました。

今号では、初めての欧洲研修で何を知り、何を感じたかを二人にレポートしてもらいましたので紹介します。

歴史が息づくヨーロッパ

梅津嘉一郎 (大琴)

不安と喜び交差

輝しい文化と歴史の重みがどつしりと腹に伝つて来るヨーロッパの国々との交流を通して、郷土秋田、そして日本の発展のため個人から脱し、日本人として友好と親善を高めるために研修を積まれたい。

特に今は新しいレールを敷く海外研修として参加諸君に大きな責任がある……。壮行式における副知事の激励のあいさつをかみしめながら、一

抹の不安と国際視野を広めることのできる喜びとを交差させながら、十月一日、成田空港から二週間に及ぶ海外研修の壮途についた。

聰明で律義な

私ども社会教育団(団長畠山県教育長)一行三十八人はルフトハンザ航空B747機の客となり、時速九八〇kmで夜間飛行を続け、七時間余り

日本時間で二日午後二時、未知の国西ドイツフランクフルトへ第一歩を踏み出す。何でも吸収してやろう……あらためて決意が込み上げる。ミュンヘンは北海道札幌市と同じ緯度にあり、十一月初めには雪が降り、夏が短かく冬が長い

という。トンガリ屋根の住宅は赤煉瓦を積み、窓縁がいざれも白くくつきりと映える。縁豊かな都市には、公園・広場がいたるところに造られており、時おり老夫婦がベンチで日光浴をしている光景が目

には共働きで住宅を建て、家族あげてのレジャーを楽しむことにウエートがかかっている。一夫婦平均の出生者数は一.五人に過ぎないという。この原因は共働きで住宅を建て、家も自分の道を選択できるチャンスを与えるような指導が行われている。日本の学制はドイツに学んだといわれるが、ドイツの現在に比較するとずい分恵まれているという印象を強くした。特に教育は政情に左右されてならないことを強く感じさせられた。

教育は各州の権限

私ども一行は、婦人班とともにハノーバーの市立実験学校を視察した。ドイツの教育は政府が直接関与することなく、各州ごとの権限で行われ、

自然と調和のとれた人間社会形成

この時点では入学、四年間で基礎学年が終ることである。共通点は六歳で入学、四年間で基礎学年が終ることである。この修業年限は五年だとう。従つて十一歳で大方の進路を決めなければならない。実験校はこの制度の是正を実験的に試みている学校である。授業は午前中だけだが、ついて行けない生徒のため特殊

教会を中心に道路が走つておる大聖堂は中世の遺跡そのまま息づいている。西ドイツは広大な庭園、広場が多い、テレビングライゼ広場でのビール祭りはつとに有名で、この祭りの期間中、各国からの観光客は五百万人にも

フランスでは、ベルサイユ宮殿、ルーブル美術館、シャンゼリゼ大通り等を見学、感動と驚きの連続であった。

主義国家として平和を守り、自然と調和のとれた人間社会を形成し、歴史が息づくヨーロッパの国々であった。

九月一日号で紹介しましたとおり、十月一日から二週間、ヨーロッパ五カ国で実施された県海外研修事業に、本町の二人も参加しました。

につく。

かつて、ヒットラーがゲルマン民族の世界制覇を企て、連邦共和国が誕生している。

一九三九年に世界大戦に突入、同四年敗戦となつたが、連合国の占領下で今日のドイツに向けて離陸した。

限下には北極の氷原が果てしなく広がり、亀裂が縦横に走つてゐるのが見える。午後九時三十分に成田空港を離陸して十八時間余り、最初の訪問国西ドイツ上空に達する。

雲海に朝日が反射、まさに一幅の絵の中をジャンボ機はどんどん降下する。

ドイツで、目下社会問題となつてゐるのは人口減であり、ドイツで、目下社会問題となつてゐるのは人口減であり、

宿小学校PTAは、優良PTA全国百十団体の一つとして十一月二十一日、文部大臣と日本PTA全国協議会から表彰状が贈られました。

同PTAは、地域の教育環境の改善整備に理解と関心を持ち、組織の整備充実

を図りながら、△PTA大より発行△親子共同菜園の設置△校地整備のための奉仕作業△親子共同菜園の設置

一など顕著な活動を続けています。

宿小PTAに大臣賞

文部省で優良団体表彰

ヨーロッパ

秋田を思わず
晚秋の北
西欧の国々

去る十月一日
から十四日間、
スウェーデン、
デンマーク、西
ドイツ、ラン
スの北西欧五カ
国、八都市を駆
け足で回ってきた
秋田青年婦人海外研修
団の一員としての旅である。

十月上旬というのに日中の気
温が一〇度以下で、長く、厳
しい冬を目の前にした晚秋の
重苦しいいたずまいは、我々
の住む秋田を思わせた。

一都市にわざか一～二日の
滞在期間で、その土地の生活・
文化を知るには短すぎたが、
現地での青年交流、現地で生
活する日本人との対話の機会
を持てたことは大変有意義で
あった。過酷なまでの自然条
件下で、高水準の生活を築き
あげてきたヨーロッパの生活
の一端をかい間見ることがで
きた。

ここでは特に印象に残った
スウェーデンの社会保障制度
についての感想をまとめてみ
たい。

高福祉・給料の
三分の一は税金

福祉大国として知られるス

ウェーデン。医療費、教育費
がすべて無料、出産のための
医療無料保障と現金給付、生
まれてから十六歳になるまで
全部一様に支給される児童手
当、日本の約十三倍という老
齢年金など、至れり尽せりの
社会保障制度である。

反面、「高福祉、高負担」
と言われているように、福祉
国家を支えているのは国民が
負担する高い税金である。働
き盛りのサラリーマンの給料
の三分の一は税金だという。
さらには、スウェーデンも日
本のように高齢化社会に向か

いつつあり、若い世代の負担
が増大する傾向にある。働く
者若者が一つの社会問題となっ
てきているようだ。

しかし、私たちが聞いた限
りでは、税に対する不満を持
つていながらも、減税して社
会保障費を削ることには賛成
できないと言う。老後の生活
を保障してくれるのは、家族
ではなく国であることから、
一種の貯蓄という考えがある
ようだ。

ひと通りホーム内を見学し
た私たちは、最後に、ある部
屋に案内された。礼拝堂を小
さくしたようなこの部屋は、
遺体の安置室でもあるという。
この施設では、年間二〇～三
〇(?)パーセントの人が亡くなつていく
そうである。病気になつても
施設を変えなくともよい措置
がとられていることも要因と
なつてゐるが、一度収容され
た人は外へ出ようとはしない
という。外見からは一般社会
から隔絶された収容所のよう
なイメージは感じられないが、
老人たちの姿に、ふと空しさ
を覚えずにはいられなかつた。

核家族化の進むスウェーデンでは、老人になつても独力
で生活する以外はない。従つ
て、このような道をたどるしか
ないことになる。施設は、
子どもと接触する機会を多く
するために、学校の近くに造ら
れるなどの配慮がなされてい
たが、「恵まれた老人たち」
の心は本当に豊かなのだろ
う。日本でも、核家族化

が進んでいるが、まだまだ家
族的な温かい暮らしが残つて
いる。改めて、日本の家族制
度を見直したような気がした。
今回の研修団員としての貴
重な体験は、単に筆で書き尽
くせないほど多くの收穫を与
えてくれた。今後の日本、私
たちの地域社会を考えた場合、
若い世代に課せられた期待が
大きいことを痛感している。

東由利の地名 = 6 =

十二の前と臼ヶ沢

「山の神」の祭神の
多くは「大山祇神」で
あるが、十二月十二日
が山の神の祭り日にな
つてゐるようだ。十二
の数が好きな神のよう
である。また神仏混淆
による仏教の薬師如来と深
いかかわりがある。薬師如
来に十二人の弟子がおつた
ことからでないか。

十二の前というのは、山
の神の前にあることからの
ようである。(もう一つの
理由は次回)



スウェーデンの社会保障制度

木島忠志 (黒沢)

モダンで
明るい老
人ホーム

人ホーム

私たち
は、首都
ストックホルム市
内の一郭にある老
人ホームを訪ねて
みた。「老人ホテ
ル」と名のつくモ
ダンで明るい建物
は、日本のマンシ
ョンに値するほど
のすばらしさだっ

た。一階は会議室、趣味の部
屋、レストランを思わせるよ
うな食堂、二階以上は個室に
なつていて、部屋にはテレビ
や、ベッドなどの家具が置か
れ、台所、トイレ、浴室付き
で、まさに贅沢という印象だ
った。日本でもモデルルーム
としてあるそうだが、私たち
の理解を超えるあまりにもで
きすぎの老人対策という感じ
がした。

ひと通りホーム内を見学し
た私たちは、最後に、ある部
屋に案内された。礼拝堂を小
さくしたようなこの部屋は、
遺体の安置室でもあるという。
この施設では、年間二〇～三
〇(?)パーセントの人が亡くなつていく
そうである。病気になつても
施設を変えなくともよい措置
がとられていることも要因と
なつてゐるが、一度収容され
た人は外へ出ようとはしない
という。外見からは一般社会
から隔絶された収容所のよう
なイメージは感じられないが、
老人たちの姿に、ふと空しさ
を覚えずにはいられなかつた。

核家族化の進むスウェーデンでは、老人になつても独力
で生活する以外はない。従つ
て、このような道をたどるしか
ないことになる。施設は、
子どもと接触する機会を多く
するために、学校の近くに造ら
れるなどの配慮がなされてい
たが、「恵まれた老人たち」
の心は本当に豊かなのだろ
う。日本でも、核家族化

が進んでいるが、まだまだ家
族的な温かい暮らしが残つて
いる。改めて、日本の家族制
度を見直したような気がした。
今回の研修団員としての貴
重な体験は、単に筆で書き尽
くせないほど多くの收穫を与
えてくれた。今後の日本、私
たちの地域社会を考えた場合、
若い世代に課せられた期待が
大きいことを痛感している。

十二の前というのは、山
の神の前にあることからの
ようである。(もう一つの
理由は次回)

(畠山昭一)

玉小女子が初優勝

= 郡市小学校バスケットボール大会 =

県大会目ざして猛練習



第七回郡市小学校バスケットボール大会が、十月二十五・二十六日の両日、本庄市の鶴舞小学校で開かれ、本町からも玉米・藏の二校が出場して、都市内の強豪を相手に奮戦、よく健闘しました。

結果、玉小女子チームが、決勝で鶴舞小を五〇対二二の大差で破り、昨年に続く出場

賞状・カップを手に喜び
の玉小女子チーム
二回目にして初優勝、見事、県
大会出場権を獲得しました。

玉米小は、去る昭和五十三
年に町内で五つ目のスポーツ
少年団を結成し、以来毎週土
曜日、野球・バスケットボーリー、卓球の練習に励んできた
ものです。

ハシゴ車も出動

老方地区で大火防止訓練

老方小で火災発生、全分
団出動せよ—全県秋の火災予
防運動最終日の十一月八日、

老方地区で大火防止訓練を行
われました。当時は、町消防団員、地元

婦人消防隊、役場特設消防
隊、分署員、警察官、交通
指導隊、東北電力のほか、
自動車ポンプや小型ポンプ、
救急車、それに、三年前に
広域消防に整備されたハシ
ゴ車も今回初めて出動しま
した。



表彰状を手に喜びの伸朗君と
おかあさん

伸朗君（宿小）県健康優良児に

厳しい審査パス

宿小学校六年の石綿伸朗君（大琴、国雄さん長男）は、

十一月六日、県健康優良児童としておかあさんの雅さんと

転作割当は大詰めの段階である。町村会は、農政部と何度も時間が短縮される。東北高速道路秋田線と相まって、本町の交通上位置づけ

斜配分か面積割かということと、冷害措置四万六千円の配分が本県にどれほど来るかである。（作況指數九九）

畜産振興について協議会を開く。①導入資金の上積み②県の保留期間を町單で一年延長。町單の保留制度③サイロ新設に助成④優性対策——などを協議する。畜産対策に標語を持つとすれば「導入・保留・優性・草地」ということになろう。

町長日記

が決まる。

冷害対策の天災融資と激甚災害法は本町に適用となつた。季節労務の皆さんの健康を祈っています。

いっしょに、県教育委員会と県学校保健会から表彰状が贈られました。これは、地域の学校保健活動推進の一方策として、ふだんから健康保持増進につとめ、勉学や各種スポーツに励み、学力・体力ともに備つている優良児童を表彰しているもので、医師らの審査、都市学校保健会の選考、作文、走、走り幅跳び、ボール投げ、斜懸垂による運動能力測定、面接などの各厳しい審査が行われ、結果、今年は伸朗君を含む男女各五人が選ばれたも

分の凍結を要望した。凍結は認められなかつたが、四万六千円の軽減は実現された。転作奨励補助金の総額は現行通り七万円になるけれども、團地化加算が問題である。

團地化加算の条件も緩和された。團地化加算の条件も緩和された。

かわらばん

町の概要

人口総数 6,378人
うち男 3,126人
うち女 3,252人
世帯数 1,453戸
面積 148.51km²
(55.10.31現在)

■ 町報ありがとう 東京東由利会と 竹本さんから謝礼

町では、町外に住む町出身者で希望する方には毎月町報を送っていますが、このお礼としてこのほど、東京東由利会から10万円、尾道市の故竹本弘衛さん（本町宿出身、改名前・小野松之助、享年85歳）の妻直栄さんから2万円が届けられました。

どうもありがとうございました。

■ 歳末たすけあい 「善意の灯」を

「ひとの心の暖かさ—歳末たすけあい」——今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が12月1日から一ヶ月間にわたって行われます。

昨年度は町内から35万9千90円が町社会福祉協議会に寄せられ、低所得世帯や長期入院、入所者に全額配布し、喜ばれました。

恵まれない方が、みんなそろって明るいお正月が迎えられるよう、今年も是非、あなたの「善意の灯」を！

■ 帰省・上京バス

申し込み期 限 12月10日

町では、出稼ぎされている方々に、今年も東京—東由利間の年末帰省バス・年始上

京バスを運行しますのでご利用ください。

乗車料金はどちらも7千円で、申し込み期限は12月10日です。

申し込み、詳しいことは役場出稼ぎ相談所へ。

社福だより

香典返しとして、故畠山タツノさんのご遺族（畠山重左エ門さん、大琴）より2万円、故小松久氏（大琴出身、秋田市）のご遺族（小松久男さん、秋田市）より10万円、故小松カネさんのご遺族（小松寛治さん、本荘市）より10万円、故小松正夫さんのご遺族（小松正さん、藏）より10万円が届けられました。

故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

慶弔だより

(10月21日～11月20日)

○誕生

ゆき	下通	喜一郎	長女
梅津かおり	大琴	嘉人	長女
まどか	小松円佳	田代	昇
石渡伸	藏	次雄	長男
よしと	遠藤良人	新処	良夫
ひろゆき	小笠原博之	土場沢	正喜
たみのり	石綿民紀	大琴	喜代隆

○結婚

畠山英昭	大吹川
武田恵子	宿
阿部竹一	宮の前
西岡多恵美	熊本県
渡辺和男	板戸
小野くに子	下小屋

弔慰譜

大庭道美	舟木	64歳
畠山タツノ	大琴	88歳
小松三四郎	館西	84歳
畠山スエ	藏	65歳
藤丸庭次郎	田代	73歳

交通事故なくして明るい新年を

12月1日～12月10日 年末の交通安全運動
12月1日～12月31日 飲酒運転追放強調県民運動

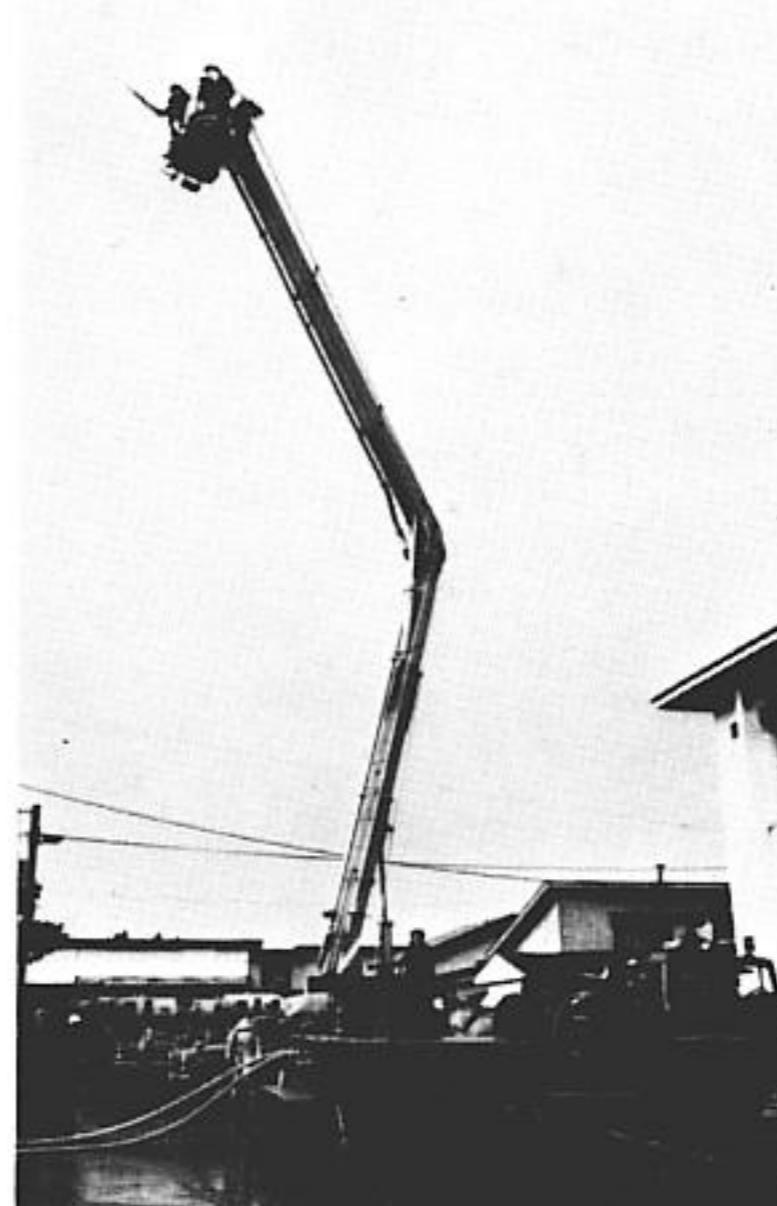
運動の重点

- ① 歩行者・自転車利用者の事故防止
- ② 安全運転の確保
- ③ 飲酒運転の徹底追放
- ④ シートベルト着用の促進

—晴天続きで極度の乾燥状態に加え、朝から強風が吹き火災警報発令下の午前十時二十分、老方より火災発生の通報を受けて待機消防団がたつて出動。火災の鎮圧にあたり出動したところ、風下に第二次火災が発生した——という

想定のもとに実戦さながらの消防活動、救急活動を繰り広げ、約四十分間にわたる訓練を終了しました。

このあと、防火思想普及のため、信用金庫前から役場まで分列行進をしました。また、閉会式を前に、五階建



吸放水等の性能ぶりを披露

石油ストーブなどの暖房器具を使用することから、今後は一年のうちに最も火災発生の危険が多くなります。また、これからは降雪も加わって消防活動もむずかしくなり、ちょっとした不小心から大惨事になりかねません。

「あなたです。火事を出すのも防ぐのも」——一日ごろから火の取り扱いには細心の注意を払い、悲惨な“赤い炎の犠牲”にならないようしましょう。

佐々木ユキノさん（大琴）は、十一月二十日午後一時四十五分に自宅で永眠されました。享年九十八歳。

佐々木さんは、本町の最高齢者として、百歳を超えるまでの長生きが期待されていました。享年九十八歳。

小松久氏（本町大琴出身、元警視、秋田市住）は、病氣療養中のところ、十月十六日午後〇時八分永眠されました。

小松キミさん（下小路）は、

十一月四日午前一時二十六分、自宅で永眠されました。元玉

米村長故小松盛蔵氏の夫人。

元玉米村長、医師小松三治郎

先生の母堂。

戦時中は、愛国婦人会長として婦女子の指導に当られました。享年九十二歳。

佐々木さんは、本町の最高

齢者として、百歳を超えるま

での長生きが期待されてい

ました。

氏は生前、優れた記憶力で郷土に語り継がれた民話を伝承している数少ない人のひとりで、先年、国学院大学民族文学研究会が行つた由利郡一帯の民話採訪に際し、百三十余話を口誦「話の三番叟」の書名で全国に紹介され、貴重な資料として民族学研究界に貢献されました。昭和五十二年町功労者顕彰受彰。享年九十二歳。

故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

畠山子之吉氏（大吹川、

町功労者）は、十一月二十日午前十時永眠されました。

考えてみたいと思います。
着付けの基本を学ぶという
同夜の講座には婦人たち三十
人余が参加、色とりどりの履
き物が公民館の玄関狭しと並
びましたが、これらはひつくり
返えつたり、左右ちぐはぐになつたりして、きわめて乱雑な状態にありまし
た。

究極は品性の涵養

——婦人講座の一コマに学ぶ

い立居振舞
いがたまた
まさを目に
にした人に
大きな感動
を与えると
いうことが
よくあります。
働く婦人
たちの要望
を入れ生涯
学習の一環
として開催
された婦人

立居振舞

公 民 館 サ 口 ン

了後に公民館を出た婦人たち一人一人に何かしかの感動を与えたものと思われます。



公開された家庭教育学級

働き、夕食の後片付けもそこに駆けつけた婦人たちの忙がしい生活ぶりを物語るかの如くでした。

開会間際に会場を訪れた一婦人が、この状態をみて一瞬啞然とした様子で立ちどまり次に物も言わず片つ端から揃え始め、全部終つたところで自分の下足をていねいに揃え会場の学習室に入つて行きました。

ほんの数分間に過ぎないこの行為の一部始終は、たまたま目撃した者のみならず、終

大げさになるだろうか。

“地域ぐるみ”に評価

学校教育と社会教育が七つとも切れない関係にあり、従来この両者を補充する程度にしか考えられていなかった家庭教育が、近年大きく脚光を浴び、その重要性が論じられるようになっています。

こうした背景のもとに町公民館が家庭教育学級の開設を手がけて早くも四年近くになりますが、本年度は

蔵分館の家庭教育学級

蔵分館の家庭教育学級

られ盛況のうちに終了することになりました。

各展示部門には予想を上まわる多数の力作が出品されましたし、ステージ・喫茶・食堂・茶会・句会等、それぞれの部門とも充実した内容に終始することができました。各団体、サークル等ご協力ご支援くださった皆様に心からお礼申し上げます。

き：賞品の数を増やせ：展部⾨がもつとあればよい：テージ部⾨の参加範囲を広よ：など次回から直ちに対できそうなものがありましが、ご意見が奇抜過ぎたり端に経費がかさむなど、直に実現という訳に行かないのもありました。いずれによ、次回以降、可能な限り映させる努力をする考えでりますのでご了承をお願います。

なお、今回、出品点数が想を大きく上まわったこと

新刊購入等図書

樂莊）【2日】ふるさと
料理講座（有鄰館）【4
日】公民館運営審議会
（公民館）【5日】婦人
講座（公民館）【9日】
郷土史研究会（公民館）
【18日】詩吟講座（公民館）

新刊購入等図書

▼裸の大将（山下清全四巻）
▼歴史への招待（⑨藤根井和
夫）▼国典類抄（第11巻）▼
写真集雄和に生きる（雄和町
長より贈呈）

ど従来試みられなかつたパ
ーンが特徴となつています
大蔵館を会場に、秋田県
涯教育常任講師である浅利
介先生（横手市住）を講師
開催されて来ましたが毎回
十・七十人の出席者があり
平易な言葉で身近な事例を
んだんに取り入れた講演内
には出席者から一様に好評
寄せられています。

十一月十八日に開催され
四回目の同学級は中央教育
務所の社教主事、在学青少
指導員・婦人教育指導員・
庭教育カウンセラー等関係

に公開されました。

会場に十一月一日から三日間にわたって開催された町生活文化祭は、町民各位のご協力に支えられ盛況のうちに終了することになりました。各展示部門には予想を上まわる多数の力作が出品されましたし、ステージ・喫茶・食堂・茶会・句会等、それぞれの部門とも充実した内容に終始することができます。各団体、サークル等ご協力ご支援くださった皆様に心からお礼申し上げます。

ど従来試みられなかつたパ
ーンが特徴となつています
大蔵館を会場に、秋田県
涯教育常任講師である浅利
介先生（横手市住）を講師
開催されて来ましたが毎回
十・七十人の出席者があり
平易な言葉で身近な事例を
んだんに取り入れた講演内
には出席者から一様に好評
寄せられています。

十一月十八日に開催され
四回目の同学級は中央教育
務所の社教主事、在学青少
指導員・婦人教育指導員・
庭教育カウンセラー等関係

に公開されました。

文化祭の状況等は別掲の通りであります。が、次回に備えて各会場にアンケートコーナーを設けたところ、多くの方から貴重なご意見をお寄

ら出品全点数に参加賞を差し
上げかねましたことをお詫び
いたします